「いじめの未然防止について」～いじめ未然防止モデルプログラムの活用　進行表（６０分用）

説明・演習「いじめの問題の未然防止の在り方」

日　時：平成２８年○○月○○日（○）○○:○○～○○:○○（６７分）

担　当：教諭　○○　○○

◇ねらい いじめを未然に防止するために、学校でどのような教育活動を進めていくか共通理解を図る。

◇展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 項　目 | 内　容 | ※進行する際のポイント　□資料・配付物 |
| 15:30  (2分) | 開会  教頭挨拶 |  | □ＰＰＴシート、マトリクス、いじめ未然防止モデル　　プログラム【平成28年３月版】、自校の行事予定　　表  ※資料等は、事前（研修の前日）に配付します。  ※事前に研修の大まかな内容を周知しておきます。 |
| 15:32  (1分) | ０　本研修のね らい | 説明  ○本研修のねらい（s1） | ※あまり時間をかけないようにします。  ※最初の25分は説明が中心なので、一方通行になら  ないよう、時折、先生方に確認をしたり、同意を求  めたりするなどしてみるとよいでしょう。 |
| 15:33  (7分) | １　いじめの未然防止の基礎基本 | 説明  ○いじめの未然防止の基礎基本（s2～5）  　・いじめ防止対策推進法  　・いじめの構造と指導の対象  　・自己有用感の育成 | ※自己有用感について、詳しくは国立教育政策研究所の生徒指導リーフLeaf.18を参照してください。例えば、このリーフも事前に配付しておくことも考えられます。  ※自己有用感の育成がいじめの未然防止につながることを全教師で理解することが大切です。 |
| 15:40  (7分) | ２　いじめの未然防止につながる教育活動 | 説明  ○いじめの未然防止につながる教育活動（s6・7） | ※自己有用感を育成する教育活動とはどのようなものなのかを全教師で理解することが大切です。  ※自校で行っている教育活動と説明の内容を関連付けて説明すると一層理解が深まるでしょう。 |
| 15:47  (11分) | ３　いじめ未然防止モデルプログラムの考え方 | 説明  ○いじめの未然防止モデルプログラムの考え方（s8～12） | ※先生方に、いじめ未然防止モデルプログラム平成  2８年３月版等を配付し、事前に目を通してもらうとよいでしょう。 |
| 15:58  (35分) |  | 演習・発表  ○マトリクスの作成〈１５分〉  ○グループ協議〈１０分〉  ○全体発表〈１０分〉  （s13） | ※自身が作成したものについて説明してもらいます。  ※全体発表においても、発表者のマトリクスについて説明してもらいます。余裕があればグループ協議の内容についても発表してもらいます。  ※発表する際は、実物投影機を使用するとよいでしょう。 |
| 16:33  (2分) | ４　今後の予定 | 説明  ○今後の予定（s14） |  |
| 16:35  (2分)  16:37 | 校長講評  閉会  終了 |  |  |
| 【事前の配付物】  ・いじめ未然防止モデルプログラム【平成2８年３月版】　※抜粋したものでも構いません。  ・パワーポイント資料　・活動のマトリクス（枠）  ・自校の行事予定表（マトリクスを作成する際にあると便利です） | | | |